



プランターに花の苗を植える緑小の児童

花と共に思いやりの心育む

花を育てることで命の大切さや思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深める「人権の花」運動が6月から千里、緑の両小学校で始まりました。

この活動は、福島地方法務局若松支局、若松人権擁護委員協議会および市町村で構成する会津地域人権啓発活動ネットワーク協議会と町が協働で実施するものです。

花の苗は、人権擁護委員の協力を得ながら両校に届けられ、サルビアやマリーゴールドなど175本の苗を児童が手分けしてプランターに植え付けました。



人権擁護委員から花の苗を受け取る緑小の児童



人権擁護委員から花の苗を受け取る千里小の児童



激励会に出席した皆さん。若い力で頑張ってください

若い力を生かし頑張る

町商工会が新社会人激励会

町商工会による本年度新社会人激励会は6月24日、同商工会館で開かれ、出席者が社会人としての決意を新たにしました。町内の事業所などに入社した32人が出席。渡部常男副会長が「若さは最大の武器。失敗を恐れず頑張ってください」とあいさつし、前後町長、長沼一夫議長が激励の言葉を述べました。新社会人を代表し、ホテルリステル猪苗代の橋口茜さんが「頂いた言葉を胸に、期待に応えられるよう職務に精励したい」と謝辞を述べました。

日頃の感謝の気持ちを込めて

長瀬小児童が町内の施設にプランターを配布

長瀬小学校の児童は6月16日、花を植えたプランターを町内の施設に配る「福祉の花活動」を実施しました。この活動は、町内の美化と地域への感謝を表す行動として、毎年実施されているものです。配布は6年生9人が3班に分かれて実施。町役場やJR猪苗代駅など10カ所にプランターを配りました。学びいなを訪れた吉田直大さん、佐藤天美さん、神龍太さんの3人は「たくさんの人にこの花を見てもらいたい」と笑顔で話しました。



学びいなを訪れた(左から)吉田さん、佐藤さん、神さん



植えた野菜の苗に水をやる園児

園児が野菜の苗植え体験

こども園で農青連猪苗代支部が実施

さくらこども園の年長児28人は6月16日、同園の畑で野菜の苗植えを体験しました。原発事故後、学校給食に町内産の野菜が使われなくなったことから、子どもたちや保護者に農業を学んでもらうとともに、町内の農産物の安全性に理解を深めてもらおうと、JAあいづ青年連盟猪苗代地区(以下農青連)が実施したものです。園児たちは、農青連のメンバーたちに植え方を教わりながら、トマトやピーマン、スイカなどの苗を植えました。

食改さんと児童が楽しく調理

米消費拡大推進事業による料理教室

町食生活改善推進員による料理教室「みんなで作ろう楽しいランチ」は6月13日、猪苗代小学校で開かれました。米消費拡大推進事業の一環で、この日は同校の5年生44人が「変わりいなり3種」「ひじきのサラダ」「レタスのスープ」の3品に挑戦。児童たちは食生活改善推進員の手ほどきを受けながら楽しく調理し、作り方を学びました。この料理教室は、町内すべての小学校と児童クラブで実施される予定です。



食改さんに教わりながら料理を作る児童



熱心にごみを拾い集める部員ら

みんなで桜の名所をきれいに

町商工会青年部が観音寺川を清掃

町商工会青年部は6月7日、観音寺川の清掃活動を実施しました。商工会青年部の全国統一事業「絆感謝運動」の一環で、部員約20人が参加。雨が降る中、参加者らは生い茂ったヨシをかき分けながら、熱心にごみを拾い集めました。吉野貴之部長は「みんなが『川をきれいにしたい』という思いで取り組み、たくさんのごみを拾うことができた。他の団体などと連携してできれば、交流が広がり、さらにいい活動になると思う」と話しました。

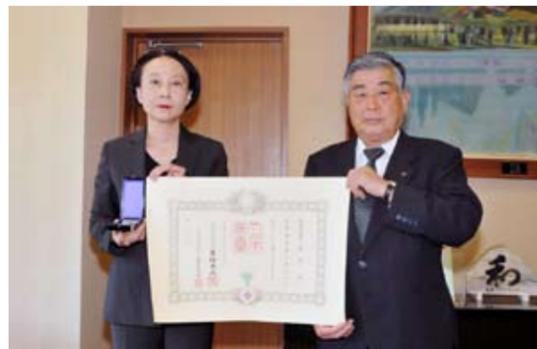
ジオパークについて理解深めて

町内小・中学校にジオパーク鳥瞰図を伝達

北海道地図が制作した磐梯山ジオパーク鳥瞰図「ジオアート」の町内小、中学校への伝達式は6月17日、町役場で行われました。ジオアートは同社が磐梯山ジオパーク協議会に贈呈したもので、ジオパークの学習に役立ててもらおうと、各校に表磐梯と裏磐梯から見たジオアート各1枚ずつが伝達されました。伝達式では、前後町長が各校を代表して出席した吾妻中の田代新一校長、増子廉大良さん(2年)、大桃萌さん(同)に手渡しました。



伝達式に出席した(左から)田代校長、大桃さん、増子さんら

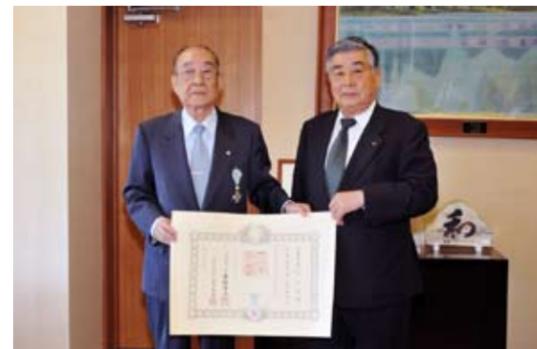


勲記と勲章の伝達を受けた橋本さん(左)

故橋本照さんに叙位叙勲伝達

正六位 瑞宝双光章に輝く

元猪苗代小学校長の故橋本照さん(川桁)への叙位・叙勲(正六位 瑞宝双光章)伝達式は6月16日、町役場で行われ、故人に代わり出席した長女の直子さんに前後町長から勲記と勲章が伝達されました。橋本さんは昭和23年から40年間にわたり小、中学校の教育に携わり、学校教育の振興・充実に顕著な実績を残しました。水彩連盟会津支部名誉顧問も務め、昭和37年には県総合美術展で県美術賞を受賞しました。



勲記と勲章の伝達を受けた川上さん(左)

川上良男さんに瑞宝双光章

前後町長が勲記と勲章を伝達

瑞宝双光章を受けた元猪苗代中学校長の川上良男さん(酸川野)への伝達式は6月16日、町役場で行われ、前後町長が川上さんに勲記と勲章を手渡しました。川上さんは「皆さんのご指導のおかげ。今後も町の発展のために尽くしていきたい」と話しました。川上さんは昭和22年から45年にわたって小、中学校教育に携わり、学校教育の振興充実に尽力。町教育委員会教育長も務め、教育行政の発展に力を注ぎました。

自然豊かなコースを疾走

磐梯南ヶ丘牧場でMTB耐久レース

マウンテンバイク(MTB)の3時間耐久レース「ジンデューロIN猪苗代」は6月8日、磐梯南ヶ丘牧場で開かれ、出場者たちが起伏に富んだ自然豊かなコースを駆け抜けました。毎年同牧場で開かれるMTBレース「ジングスカップ」を運営する「ジングス友の会」の主催で、当日は男女ソロ、チーム、男女混合、ファミリーの各部門に合わせて約100人が参加。家族やチームメイトらの声援を受けながら、熱いレースを繰り広げました。



レースに挑む出場者たち

米国で野口英世博士をしのぶ

ニューヨーク野口英世記念会が87回忌式典

本町出身の世界的医学者、野口英世博士の87回忌式典が命日の5月21日、博士の亡きながら今も眠る米国・ニューヨークのウッドローン墓地で行われました。昨秋、博士の功績をたたえ、日米の医学を目指す子どもたちを支援するために設立されたNPO団体「ニューヨーク野口英世記念会(HNMS)」によって開催されたもので、日米の医学関係者など約50人が出席。博士の墓に献花し、冥福を祈るとともに、博士の偉業をたたえました。



式典に出席した関係者(写真提供:HNMS)



加藤教官(右)の話真剣に聴く児童

信頼や友情について学ぶ

猪苗代小に外部講師招き道徳授業

町教育委員会は6月16日、外部から講師を招き、猪苗代小で道徳の授業研究会を開きました。本年度、同校が県教育委員会から道徳教育推進校の指定を受けたことから実施されたものです。東京の筑波大学附属小の加藤宣行教官が、「言葉のおくりもの」と題し授業を実施。6年1組の児童21人が、信頼や友情、チームなどについて学びました。終了後、教諭らを対象に「道徳の授業と学校組織としての道徳教育の進め方」と題し講話しました。



親子競争キッズの部で元気よくスタートする参加者

老若男女が健脚競う

町民健康マラソン大会

町民健康マラソン大会は6月29日、町民運動公園で開かれ、参加者たちが健脚を競いました。小、中学生を中心に458人が参加。男女別、年齢別などの21部門を繰り広げ、選手たちが爽やかな汗を流しました。人気種目の親子競争やリレーマラソンでは、応援に駆け付けた家族やチームメイトなどから盛んな声援が飛びました。会場では、町食生活改善推進員により豚汁が振る舞われ、選手や応援に訪れた家族たちから好評を博しました。

町外の児童・生徒が田植えを体験

震災後初 猪苗代体験学習推進協議会が招く

茨城県日立市立平沢中の2年生46人と三春町立中妻小の5年生10人は5月29日、アグリいなで田植えを体験しました。猪苗代観光協会、磐梯スポーツ村などをつくる猪苗代体験学習推進協議会が招いたもので、東日本大震災後、町外から小、中学生が農業体験に訪れたのは初めてです。子どもたちは、泥だらけになりながらも楽しそうに取り組み、丁寧に苗を植え付けました。この日は、千里小の5年生22人も田植えを体験しました。



丁寧に苗を植える平沢中の生徒たち

アウトドアの魅力を満喫

GO OUT CAMP 猪苗代

キャンプイベント「GO OUT CAMP 猪苗代」は5月31日、6月1日の両日、天神浜オートキャンプ場で開かれ、参加者たちがアウトドアの魅力を満喫しました。会場ではステージイベントなど多彩な催しが繰り広げられたほか、地元の特産品やアウトドア用品などの出店が多く立ち並び、大勢の人でにぎわいました。曲淵大根クラブによる餅つき大会や川桁(かわがき)真鼓(まづみ)楽会による太鼓の演奏なども繰り広げられ、会場を盛り上げました。



多彩な催しで来場者を楽しませたGO OUT CAMP